

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業				評価者	観光課長 中澤 準	
市民-10	日本遺産事業	☒ 自治事務		主管課	観光課	
重点事業		☐ 法定受託事務		関連課	文化財課・生涯学習課・文化課・都市景観課など	
総合計画上の位置付け	分野	0-(4) 歴史的遺産と共生するまちづくり		施策の方針	0-(4) 歴史的遺産と共生するまちづくり	

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用するため。
効果	鎌倉の魅力を国内外に発信することにより、歴史的遺産と共生するまちの実現が図られる。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

・地域活性化計画に基づいた事業の企画立案支援や広報物・刊行物の整備支援など事業推進体制の強化を図った。	
・鎌倉駅西口駅前に日本遺産の発信拠点である「いざ、鎌倉」観光案内所を開設した。	
・日本遺産フェスティバルin極上の会津、日本遺産マルシェ(京都)への出展、建長寺において市民を対象とした日本遺産シンポジウムを開催などにより、日本遺産の構成文化財の魅力を伝える情報発信に取り組んだ。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝 番 号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値／目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算／当初)(千円)		予算額(千円)	
01	日本遺産事業	日本遺産いざ鎌倉協 議会負担金の支出等	観光客の満足度(%)	85.0 /	89.5	90.0	95.0%
				24,675 /	25,809	25,809	
02			日本遺産の認知度 (%)	16.9 /	22.0	24.0	76.8%
				24,675 /	25,809	25,809	
03				/			
				/			
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源 内訳	国県支出金	2,112 /	0	0	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	22,563 /	25,809	25,809	
			事業費の合計 (千円)		24,675 /	25,809	
		人件費 (千円)			12,584	13,659	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.5	0.5	0.5	1.6	1.6	1.6
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0.0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	日本遺産事業	シンポジウムの実施や「いざ、鎌倉」観光案内所の開設等、市内外に向けた発信を強化しているが、まだ途上である。	日本遺産に係る情報発信等は、市の歴史的文化的遺産への理解やシビックプライド醸成に繋がることから、歴史的遺産と共生するまちの形成に寄与した。	日本遺産「いざ、鎌倉」の認知度に課題があるため、日本遺産のロゴマークの民間商品への活用等を進め、認知度を高めるとともに、民間事業者等と協力して構成文化財の更なる魅力発信を行っていく。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
		協働実施済の場合のパートナー
		日本遺産いざ鎌倉協議会(鎌倉市観光協会、鎌倉商工会議所、鎌倉風致保存会)

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☐ 改善・変更 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
 日本遺産の構成文化財の魅力を伝える情報発信に取り組むとともに、構成文化財を活用した分散観光の推進など、観光課題の解決に向けた視点でも積極的に活用を検討していく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。また、日本遺産を活用した活性化を測る指標として文化庁が設定しているため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0	88.0	86.5	87.0	85.0		
	達成率	91.5%	98.9%	97.2%	97.2%	95.0%		

指標(単位)	日本遺産「いざ、鎌倉」の認知度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
日本遺産を活用した活性化を測る指標として文化庁が設定しているため。指標については、新設とした。	目標値	—	—	20.0	20.0	22.0	24.0	
	実績値	—	—	9.3	10.6	16.8		
	達成率	—	—	46.4%	53.0%	76.4%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	日本遺産認定自治体							
団体名	鎌倉市	小田原市	横須賀市	伊勢原市	箱根町			
他市実績	○	○	○	○	○			

当該事業実施に伴う
他市比較に関する考え方

県内認定自治体のそれぞれの個性を活かしつつ、連携の可能性を模索していく必要がある。